

- 自分の課題を設定し、問題解決的学習を進める。
- 図式化したものの中から自分の課題を設定することにより、共通課題との関連を明確に意識できる。

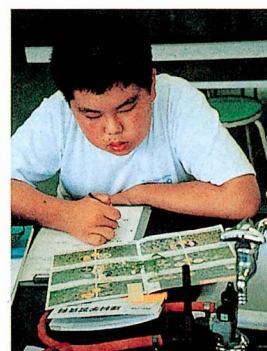
- 生徒一人一人の選んだ方法で情報収集できるようにする。

- 一人一人が既習内容から、方法・準備物を考えて情報収集し、主体的な学習を進める。
- 調べる方法・準備物を発表し自分の考えを補充・修正する。

- 展示された写真の中から、一人1～2種類の植物を選び、見分ける手がかりを決めて、個人課題とした。

生徒	調べる植物	手がかり
A	ヒメジオン・ネギ	茎の維管束・葉脈
B	キュウリ・サルビア	茎の維管束
C	ドクダミ・ジャガイモ	葉脈・花びら
D	エノコログサ・ツユクサ	根
E	エノコログサ・カタバミ	根・葉脈

- 生徒一人一人が植物と見分ける手がかりを決めることができ、主体的に学習に取り組む意欲づけになった。また、発表し合うことによって目標が持て、本時の課題解決に全員で協力する必要性を感じた。
- 生徒D・Eは同じエノコログサを選んだが、自分で決めたことを大切に、2人で協力して調べるようになった。
- 生徒Bは、根の観察という一番細かい作業の手がかりを選んだ。自主性を重んじ、励ましの声をかけ見守ることにした。
- 生徒が選ばない植物(マツ・ヒノキ)については、みんなで話し合い、結果をフラッシュカードで黒板に貼った。



3 調べる方法・準備物を考える。

- 実験のレポート用紙に、自分の見分け方・準備物を記入した。手がかりとその見分け方について生徒と確認し、調べる方法・準備物を生徒自身が考えられるよう支援した。

手がかり	自分の見分け方(自分の分類方法)
茎の維管束	輪の形に並んでいれば双子葉類 ばらばらならば単子葉類
葉脈	網目状ならば双子葉類 平行ならば単子葉類
花びら	4又は5枚ならば双子葉類 3又は6枚ならば単子葉類
根	主根・側根ならば双子葉類 ひげ根ならば単子葉類

- 自分で決めたことを発表することで、友達の内容と比較したり、自分の内容を修正して、考えを深めることができた。